

豊橋で急成長を目指すスタートアップを応援 スタートアップチャレンジ交付金の交付先決定

豊橋市を活動拠点として急成長を目指す起業初期のスタートアップを積極的に支援するため、本市では、令和4年度にスタートアップチャレンジ交付金制度を創設しました。2年目となる令和5年度末に募集を行ったところ、市内外のスタートアップ8社から応募がありました。

このたび、投資家や起業経験者などによる厳正な審査により、将来有望なスタートアップ4社を交付先として決定しましたのでお知らせします。

ポイント① 市内外を問わず幅広くスタートアップを支援

本市をフィールドとして事業創出を目指すスタートアップを全国から呼び込むため、本市に拠点を置く予定があれば市内外を問わず、1社あたり最大250万円を交付します。

ポイント② スタートアップと地域の事業者とのマッチングを推進

本市で活躍するスタートアップを増やしていくことで、地域の事業者との連携により新たなビジネスが生まれる環境づくりを行っていきます。

<交付先スタートアップ>

企業名（代表者氏名）	所在地	事業概要	交付額
株式会社 INGEN（インゲン） 代表取締役 櫻井 杏子 	千葉県 松戸市	『就農・転作1年目で収益化できる栽培パッケージの創出』 栽培方法と収量予測を提供することで、カン・コツに頼らず収益を上げる農業経営を実現するサービスの開発を行う。	250万円
株式会社スペース 代表取締役 村井 美映 	蒲郡市	『中継輸送のマッチングプラットフォーム』 昨今のドライバー不足に対し、中継拠点で運送会社同士をマッチングさせ、荷物の中継輸送を実現するサービスの開発を行う。	250万円
小澤 容平 (個人事業主)	豊橋市	『医療従事者の被ばく状況可視化システム』 医療現場における被ばく状況を可視化し、リアルタイムで従事者に伝える装置の開発を行う。	150万円
株式会社 Ribbons Base（リボンズベース） 代表取締役 西川 隆一 	豊橋市	『がん患者向け治療日記シェアアプリ』 がん薬物療法における治療日記を患者同士や医療者と共有し、独自 SNS による孤独感の解消をサポートするアプリサービスの開発を行う。	150万円

本交付金の詳細については、右記二次元コードを読み取り、ホームページにてご確認ください。



問合せ先 地域イノベーション推進室 室長補佐 小野（電話 51-3155）

<スタートアップチャレンジ交付金について>

1. 目的

本市で事業創出を目指すスタートアップに対し、事業創出に必要な経費の一部を交付し、本市でのスタートアップ創出の促進を図る。

2. 交付金の概要

- (1) 予算額：1,000 万円
- (2) 交付対象者要件：市内に本社又は主たる事業所を置いていること
※現在は市外でも、交付決定から1年以内に置く場合も含む。
- (3) 交付額：交付対象経費の2分の1の額（対象者要件ごとに以下の上限を設定）

交付対象事業者	交付上限金額
ベンチャーキャピタルや投資家等から出資を受けた者	出資額、又は250万円のうち低い方
ビジネスプランコンテスト等で賞金を獲得した者	獲得した賞金の額、又は150万円のうち低い方
ベンチャーキャピタル等から伴走支援を受けている者	150万円
事業化にあたってプロトタイプを有している者	150万円

- (4) 対象フェーズ

